

# 厚小だより



平成 28 年 12 月 22 日

## 本校の教育活動に関する「保護者アンケート」の結果について

校長 秦 直人

9月末にご協力いただいた「保護者アンケート」（回収率が82%）の集約・分析が終わり、先日開催された学校評議委員会で結果説明をいたしました。限られた紙面での報告となりますが、お寄せいただいた貴重なご意見を今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。

### 【学校・子どもの様子について】

A…そう思う  
B…ややそう思う  
を合計した割合です。

A…そう思う    B…ややそう思う    C…あまり思わない    D…思わない

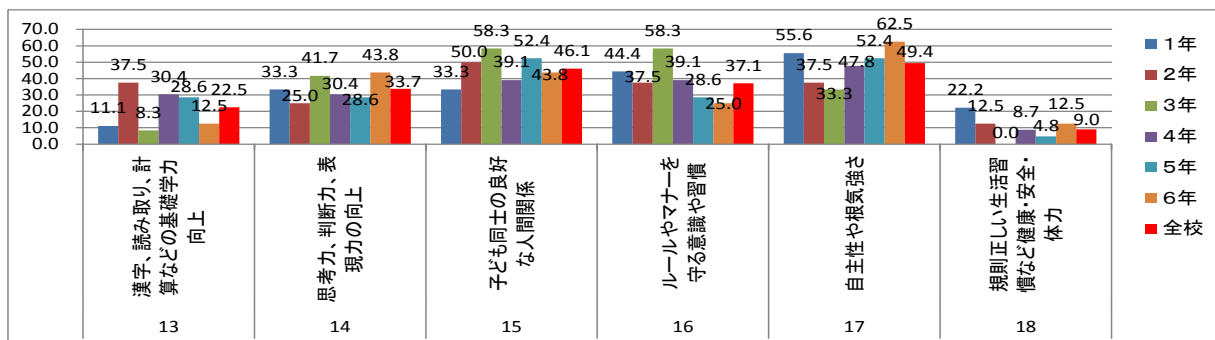
項 目	A+Bの割合	Dの割合
1. 学校では、子供の学習理解に応じて指導方法を工夫している	83%	0%
2. 子どもは、学校で学んだことを身につけている	93%	0%
3. 子どもは、家庭学習の習慣を身につけている	91%	0%
4. 子どもは、友達と仲良く明るい気持ちで学校生活を送っている	95%	0%
5. 子どもには、自分で判断して行動する力が育っている	85%	2%
6. 子どもは、決まりを守る意識や習慣を身につけている	92%	1%
7. 子どもは、健康的な生活習慣（早寝・早起きなど）を身につけている	82%	3%
8. 子どもの体力・運動能力は向上している	74%	4%
9. 学校は、子どもの良くない言動に対してきちんと指導している	77%	0%
10. 学校は、きめ細かな子ども理解に努め、迅速・丁寧に対応している	73%	0%
11. 学校は、保護者の願いや相談をしっかり受けとめている	76%	1%
12. 学校は、お便りや懇談などで学校や子どもの様子を伝えている	86%	2%

・「4. 仲良く明るい学校生活」「2. 学習内容の定着」「3. 学習習慣」について、90%以上が肯定的評価をし、そして、D評価が0%という結果でした。特に、「4. 仲良く明るい学校生活」はA評価が52%と唯一の50%越えとなりました。集団生活の中には、時として友達同士のぶつかり合いやつらいこともあると思いますが、子ども達みんなが、仲良く明るい学校生活を送っていけるよう今後も努力していきたいと思っております。

・肯定的評価が8割を下回ったのは4項目（番号8～11）となり、昨年度の2項目より増える結果となりました。「7. 体力・運動能力」については昨年度69%から74%に増えてはいますが、今後も家庭と連携を図りながら、体力・運動能力の向上に継続的に取り組んでいきます。「9. きちんと指導」「10. 子ども理解」「11. 保護者の願いや相談」については、結果を真摯に受け止め、これまでの対応や指導を振り返るとともに、各家庭との連携をより一層図っていきます。

・昨年度と比べ肯定的評価が大きく伸びたのは、「7. 生活習慣」で、昨年度72%から82%と10%増となりました。各家庭でご協力いただいている『生活リズムチェックシート』の取り組みも「生活習慣・学習習慣の改善、定着」につながっています。チェックシートは冬休み明けにも配付しますので、引き続き、個別の目標をしっかりと立て、親子で生活習慣の改善・定着に取り組んでいきましょう。今後も各家庭で「早寝・早起き・朝ご飯」を中心に健康的な生活習慣の定着をよろしく願いいたします。

【子どもにとって特に重要と考えていること（6項目から2つを選択）】



・6項目どれも大事ですが、全校的に1番多かったのは「自主性・根気強さ」で50%近くの皆さんが大事であるととらえています。次いで「人間関係」「ルールやマナー」と続き、この傾向は昨年と同様でした。これらについては引き続き、様々な場面で計画的、意図的に指導していきます。

・学力の部分（13, 14番）で、昨年度と逆転したのは思考力・判断力・表現力の向上で、基礎学力の向上を上回りました。今後、基礎基本の定着の更なる充実とともにその活用をしっかりと図っていく教育活動を展開していきます。

【記述欄から（要約）】

- ・宿題が多すぎて自分がやるべきとしている勉強ができない。自分の学習理解度に合った課題をやらせたい。
- ・宿題が多すぎ。帰宅後、寝るまで宿題等で終わることがしばしばある。
- ・（項目4について）低学年からこのような指導が大切。「譲り合う、助け合う、認め合う」努力ができない子に対して断固たる指導（家庭との連携）と学校のバックアップが必要。
- ・（項目9について）子どもたちの先生方に対する言葉遣いに驚いた。家庭でもしつづけているが、集団でのきちんとした指導も引き続きお願いしたい。
- ・（項目12について）子どもの失態や悪い姿はなかなか伝えてもらえないので、集団での様子が不透明。家庭でも連携して働き掛ける必要がある。
- ・小さな事でも家庭との連携が大切。悪事は家庭にばれるを分からせる
- ・車で送迎が多いのに驚いている。本人とよく話をしなるべく歩くようにさせている。

・学校では子ども達の知力・心力・体力をバランス良く鍛えていくことを目標としています。知力の向上には学校での授業の充実はもとより、家庭での学習習慣の定着や内容の充実も大事なことです。また、体力の向上には学校での計画的な活動に加え、日常生活の中でも歩いたり走ったり、元気いっぱい外遊びしたりすることも大切になってきます。学校、家庭、地域が連携して、「知力・心力・体力のバランスのとれた子ども」にしていきたいと思います。

・学校では、一人一人の子どもに対し、担任はもとより、フリーの先生方や養護教諭、特別支援コーディネーターなど多くの目で子どもたちの様子を把握し、多くの手で成長をサポートしていきます。お子さんのこと、学級のこと、学校のことなどで何かありましたら、遠慮なく学校へご連絡ください。子どもたちのために、素早い対応を心がけていきます。

・学校生活の充実には学校と家庭の連携が大切になります。学校では伝えたい対象の学年や内容によって、各種お便りの発行や安心メール、連絡ノート、電話で直接お話するなどして、各家庭との連携を図っています。今後も充実させていきますが、大切なのは双方向の連携です。子どもの健やかな成長のため、今後ご理解、ご協力をよろしくお願いします。